

令和4年度宗谷地域野生鳥獣対策連絡協議会 議事録

日時 令和5年(2023年)2月28日(火) 13時30分~14時30分
開催場所・方法 1 宗谷合同庁舎4階大会議室
2 ZOOMによるWEB開催
出席者 別添出席者名簿のとおり
議題 1 野生鳥獣被害の状況等(エゾシカ・アライグマ・ヒグマ)について
2 野生鳥獣被害対策等について
3 その他
4 質疑応答

議事

(1) 議題1 野生鳥獣被害の状況等(エゾシカ・アライグマ・ヒグマ)について

- ア 事務局から資料(エゾシカについて)説明(曾我自然環境係長)
- イ 事務局から資料(アライグマについて)説明(西野獣医師)
- ウ 事務局から資料(ヒグマについて)説明(曾我自然環境係長)
- エ 質疑応答(有・無)

(2) 議題2 野生鳥獣被害対策等について

- ア メスジカ捕獲割合の増加について意見・見解等を出席者から聴取

(ア) 稚内市

- ・メスを重点的に捕るとするならば、そのようにお願いすることしかできないと考える。

(イ) 浜頓別町

- ・現状メスの捕獲割合は大きいと考えている。
- ・今後としては、猟友会と協議し対応していきたい。

(ウ) 中頓別町

- ・オスの捕獲割合が多い傾向。ハンターへはメスを重点的に捕るようお願いをしているが、ハンターの高齢化もあり増えていない現状。
- ・メスジカを多く捕ってもらうためには、捕獲報奨金をメスであれば加算されるような仕組みとなれば、ハンターのやる気にもなると考える。

(エ) 枝幸町

- ・メスジカの捕獲の重要性を認識しているところで、積極的な捕獲を呼びかけているが捕獲数が伸び悩んでいる。

(オ) 豊富町

- 音声接続の不調のため発言できず。後日、電話にて次のとおり見解あり。
- ・メスジカの捕獲率を上げるように努力はしているが、基本現れたシカを撃つていくため、メスジカを意識的に狙うのは難しいと考える。
- ・現状、現れるシカのうちメスジカが多い状況となっているため、結果的にはメスジカの捕獲率が高くなっている。

(カ) 北海道猟友会稚内支部

- ・率直に言ってメスジカだけを狙うのは難しい。オスの方が狙いやすい。
- ・シカの群れに遭遇した場合、それを撃つと集団で逃げていく。メスはずっと逃げ続けるが、オスは身を隠せる場所へ逃げ込むという違いが見られる。ハンターとし

ては隠れて動きを止めるオスジカの方が狙いやすい。ただ群れの中ではメスの数が多いから結果的には同程度の割合の捕獲となっている。

(キ) 北海道猟友会天塩支部

・市町村による駆除だけではなく、全道的に猟友会所属ハンター全体が協力し力を入れていけば成果が出ると考える。

・また、本州からのハンターは残滓処理の問題から狩猟があまりできていないため、北海道としての取り組みや市町村での処理などで解決していけば、捕獲も増えると考え。一般のハンターの力も必要。

・ハンターの高齢化やライフルを所持するハンターが少ないことも要因。所持許可の年数の短縮などの動きがあればよいのでは。

イ 質疑応答 (有・無)

(3) 議題3 その他

ア 質疑応答 (有・無)

(4) 協議会全体を通しての質疑応答について

ア 質疑応答 (有・無)